

会 社 案 内

Heartful Innovation



インフラテック株式会社
インフラテックグループ

<http://www.infratec.co.jp>

限りなきイノベーションへの挑戦



代表取締役社長

松崎 秀雄

インフラテック株式会社は創業以来50年にわたり、優れた品質のインフラパーツ(土木・建築用コンクリート二次製品やGRC製品)の供給を通じて「ゆとりやすらぎ あたたかさのある街づくり」を追求し日本の社会基盤整備のお役に立ってまいりました。

この間、より良い製品を安定供給するため、様々な技術革新に取り組み業界をリードする独自のデザイン性と高い技術力で皆様から大きな信頼を頂いております。

お年寄りや子供たちが安心して住むことができるまち作りや、環境に配慮した社会基盤整備が全国で行われます。インフラテック株式会社は、これまでに培ってきた総合力で、グループをあげてこれに貢献して参りたいと考えております。

決して今までの経験だけに頼ることなく、常に未来を展望し、社員一人一人がイノベーションに挑戦、人や環境にやさしい商品・製品をいつでも提供できる新しい時代にマッチした企業を目指してまいります。

経営理念

全従業員しあわせの物心両面の幸福を追求すると共に、
インフラパーツの創造を通して、
人類・社会に夢と感動を提供し続けます。

社訓

1. 信用は繁栄の母
2. 努力研究は繁栄の父
3. 人材育成は繁栄の基礎
4. 人の和は繁栄の近道
5. 仕事を愛し会社を愛することは繁栄の原動力
6. 人のため社会のために奉仕する精神は繁栄の精神

会社概要

- 会社名 インフラテック株式会社
建設業許可番号国土交通大臣許可(般-22) 第9093号
- 本社所在地 〒890-0062 鹿児島市与次郎2丁目7番25号
TEL.099-252-9911 FAX.099-259-4100
- 創立 昭和31年6月15日
- 資本金 7,300万円
- 売上高 133億円(平成23年9月)
- 役員 代表取締役社長 松崎 秀雄
専務取締役 松山 隆文
取締役(社外) 藁真寺 朗彦
常務執行員 下濱 宏久 前野 謙二郎 福留 勝志
執行役員 杉元 博 川辺 衆治 河野 道文
監査役 藁手 恒憲
- 従業員 522名(平成23年9月)
- 事業内容 インフラパーツ(土木・建築用コンクリート二次製品、GRC製品)の製造販売、建築・土木工事、ゴルフ場経営
- 取引銀行 鹿児島銀行、宮崎銀行、商工中金、日本政策金融公庫ほか
- グループ売上高 170億円(平成23年9月)
- グループ従業員 726名(平成23年9月)
- 営業所・出張所 鹿児島・南薩・大島・北薩・始良・大隅・宮崎・日南・都城・延岡・大分
福岡・瀬高・熊本・東京・山梨・静岡・仙台・大阪・和歌山・広島・沖縄
- 工場 南薩・始良・鹿屋・栗野・日南・高城・瀬高・大分・岡山

関連会社

- | | |
|----------------|----------|
| 大島共和インフラテック(株) | (株)吹上工業 |
| 共同インフラテック(株) | (株)根占殖産 |
| 北方インフラテック(株) | 東邦鉱業(株) |
| 中央インフラテック(株) | 韓国GRC(株) |
| 九建殖産(株) | 南薩砂利(株) |
| インフラテックサービス(株) | |



本社ビル

会社沿革

- 昭和31年 6月 「新九州ブロック興業株式会社」設立。本社を鹿屋市に置く。
- 昭和38年 6月 社名を「九州建設興業株式会社」に変更、土木用コンクリート二次製品の製造販売開始。
- 昭和42年10月 鹿児島工場を建設、操業開始。
社名を「九建コンクリート株式会社」に変更。
- 昭和46年10月 南薩工場を建設、操業開始。
- 昭和46年12月 本社所在地を鹿屋市より鹿児島市に移転。
- 昭和47年10月 大隅工場を建設、操業開始。
- 昭和49年 9月 大島九建コンクリート株式会社(現奄美インフラテック)を名瀬市に設立。
- 昭和52年 9月 大島九建コンクリート株式会社住用工場建設。
鹿児島セラミック化工株式会社(現ジェイ・エフ・ビー)を鹿児島市に設立。
- 昭和53年 9月 宮崎九建コンクリート株式会社を宮崎県高城町に設立。
- 昭和53年10月 社名を「株式会社九建」に変更。
- 昭和53年11月 瀬高工場操業開始。
- 昭和56年 4月 GRC製品研究開発用設備を設置。
- 昭和58年 3月 鹿児島セラミック化工株式会社を、始良町平松に移転、GRC製品製造専門工場として操業開始。
- 昭和58年 6月 「耐アルカリ性シラスガラス繊維を利用したGRC製品に関する応用研究」に対して、通産省より重要技術研究開発費補助金の交付決定を受ける。
- 昭和58年 9月 始良町に技術開発センターを建設、先に通産省より補助金交付の決定を受けた「耐アルカリ性シラスガラス繊維を利用したGRC製品に関する応用研究」の試験研究を開始。
- 昭和60年 9月 日南ヒューム管株式会社の株式28,000株(発行済株式の56%)を取得、経営指導を行う。
- 昭和62年 9月 KCサークルが昭和62年度通産省省グッドデザイン商品に選定される。
- 平成元年 3月 KCフォームが「民間開発建設技術の技術審査・証明事業」の土木系材料技術の審査証明を獲得。
- 平成元年 6月 関東以北への製品供給を目的に、栃木県下都賀郡那賀町に栃木九建株式会社を設立。
- 平成元年 9月 KCサークルが平成元年度通産省省グッドデザイン商品に選定される。瀬高新工場竣工、操業開始。
- 平成 2年 3月 本社ビル新築工事に着工。
- 平成 3年 3月 本社ビル竣工。
- 平成 3年 4月 株式会社九建からインフラテック株式会社に社名変更、CIと併せてVIも同時導入。
- 平成 3年10月 株式会社ジェイ・エフ・ビーと株式会社トーマン、株式会社新光ACE電機の合併工場として、韓国GRC株式会社を設立。
- 平成 4年11月 インフラテック開発株式会社(鹿児島ガーデンゴルフ倶楽部)設立
- 平成 5年 5月 岡山インフラテック株式会社設立。
- 平成 6年 9月 本社ビルが第7回日経ニューオフィス賞(九州通産産業局長賞)を受賞。
車止め「ハイビーストップ」が平成6年度通産省省グッドデザイン商品に選定される。
- 平成 6年11月 南九州開工コンクリート株式会社の株式100%を取得。
- 平成 8年11月 岡山インフラテック株式会社竣工。
- 平成 9年 9月 KCライン側溝が第38回全国発明くふうコンクールで入賞。
スーパージャンボが九州地方発明協会主催の九州通産産業局長賞を受賞する。
- 平成10年 4月 いわきインフラテック株式会社設立。
- 平成10年 5月 共同インフラテック株式会社設立。
- 平成11年 8月 岡山インフラテック(株)合併。
- 平成12年 5月 南九州インフラテック(株)合併。
- 平成12年10月 日南インフラテック(株)・霧島インフラテック(株)・宮崎インフラテック(株)合併。
- 平成13年11月 北方インフラテック(株)設立。
- 平成15年 1月 環境事業部開設。
- 平成15年 5月 鹿児島工場開設本社営業所を鹿児島営業所に名称変更し鹿児島工場内へ移転。
- 平成15年10月 北方インフラテック(株)第一工場(生コン事業部)を開設。
- 平成16年 5月 アメーバ経営導入。
- 平成17年 3月 伊集院営業所を閉鎖、鹿児島営業所に統合。日向営業所を閉鎖、北方営業所に統合。
- 平成17年 4月 北方営業所を移転し延岡営業所へ名称変更。
- 平成17年 6月 中央ブロック(株)設立。
- 平成17年 7月 環境事業部を社長室・経営ボード、ミーティング・NBプロジェクトに改編。
- 平成18年 2月 霧島営業所開設。
- 平成19年 3月 大隅工場休止。いわきインフラテック(株)を操業停止。福島営業所を仙台営業所へ統合。
- 平成19年 4月 品質保証部設立。大隅営業所を末吉工場内へ移転。
- 平成19年 5月 いわきインフラテック(株)を吸収合併。
- 平成20年 1月 中央ブロック(株)を中央インフラテック(株)へ社名変更。
- 平成20年 3月 鹿児島工場休止。鹿児島営業所を本社内へ移転。
- 平成20年 4月 グループ財務戦略室設立。
- 平成20年 5月 (株)ミナミと販売部門の事業統合。(株)ミナミ内に大分営業所開設。
- 平成20年 9月 末吉工場、有明工場休止。
- 平成21年 1月 奄美インフラテック(株)と(株)ジェイ・エフ・ビーを吸収合併。
- 平成21年 4月 鹿児島共和コンクリート工業株式会社と共同出資し、大島共和インフラテック株式会社を設立。
熊本営業所新設。
- 平成23年 1月 九建開発(株)、栃木九建(株)の特別清算結了。
- 平成24年 4月 沖縄営業所新設。

良い製品を生み出す優れた技術力

技術

21世紀の街づくりを支える技術を目指しR&D室(現:研究開発課)や技術課を設置するなど、他社に先駆けて人材と資源を積極的に投入してきました。例えば、新素材の開発では、1978年に南九州に大量に堆積するシラスを利用したGRC(ガラス繊維強化セメント)の研究に着手し、通産省の重要技術研究開発補助金の交付を受けています。

これらの技術は、コンクリート製品の利用分野を大きく拡大した各種のGRC製品に引き継がれています。



商品開発

コンクリート二次製品は人の一生に匹敵する永い寿命を持っています。インフラテック人々が「ゆとり やすらぎ あたたかさ」を感じることでできる街づくりを目指して、あらゆるニーズにお応えできる商品開発体制づくりを行ってきました。私たちを育んでくれる豊かな自然環境をそのまま後世に残したい、そういう思いを込めて商品開発に取り組んでいます。

若い人たちの減少による工事現場の労働力不足が深刻な問題になっています。インフラテックは製品の大型化やGRCを利用した商品開発で、施工現場の省力化を実現してきました。これからは更にこの取組みを推進し、工事費の節減による公共工事予算のより有効な活用にご貢献したいと考えています。



デザイン

世の中が豊かになるにつれ、人々の求めるものが実用性から実用性プラスαに変化し、全国各地でその地域の環境や特性にマッチした街路や公園などの整備が進められてきました。私たちは、この観点から人々にやすらぎを提供できるデザインを追求し、昭和62年にコンクリート二次製品業界としては初めて、樹木保護蓋KCサークルが通産省グッド、デザイン商品に選定され、更に平成元年、4年にも同製品が選定されています。また、平成6年には車止めハイピーストップが選定の栄誉に輝きました。又、高齢化が確実に進む中で、落ち着きや安心を与えることができ、バリアフリーやユニバーサルデザインに配慮した街づくりが求められています。インフラテックは、それぞれの地域により相応しい街づくりを提案するため、いろいろな要望にお応えしています。



優れた製品を支えるインフラテックの総合力

施工指導

コンクリート二次製品は、崖崩れなどいろいろな災害防止のためにも大量に用いられています。しかし、計り知れない自然の猛威から、大切な人の生命や街を守るためには、より確かな施工が必要です。インフラテックは、製品の特性を100%活かした万全な施工が行えるよう、いつでもサポートできる体制を整えています。

製造

インフラテックは、南九州各地の製造拠点、のほか、福岡、岡山、更に韓国にも製造拠点を展開しコンクリート二次製品およびGRC製品の総合メーカーとして、より低価格でより良い品質の商品を、いつでも提供できる体制を構築し、皆様から大きな信頼をいただけてきました。この信頼の輪を更に大きくするために、現在製造拠点の新設、統廃合プランを進めており、更には全国主要メーカーとのアライアンスを通して、インフラパーツが日本中の社会基盤整備にご貢献できる日もそんなに遠いことではありません。



あらゆる生活シーンでインフラ整備に貢献しています

クールトーン(ヒートアイランド抑制製品)

火力発電所から発生する石炭灰を再利用した保水性のある舗装材です。蓄えた水分が蒸発する際の気化熱により、舗装路面温度の上昇を抑制できます。



グーリッド(即日開放蓋版)

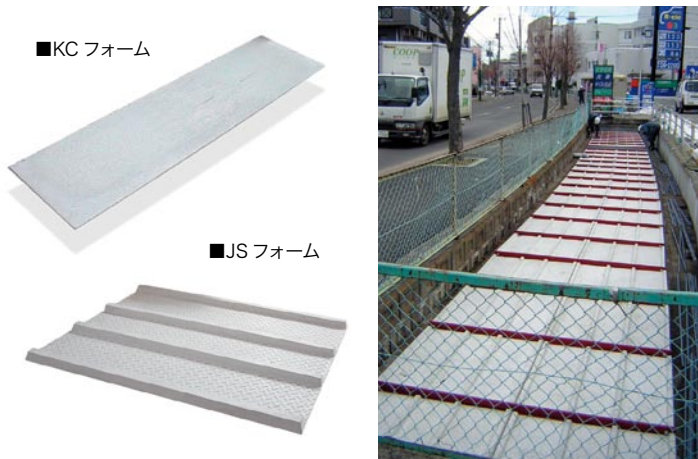
無収縮モルタルによる蓋版固定構造で、側溝の暗渠化工事の即時開放に最適です。



▲施工前 ▲施工後

KC フォーム・JS フォーム(GRC 製側溝用埋設型枠)

歩道のバリアフリー化や騒音防止の目的で、既設の道路側溝のコンクリート蓋を現場打ちコンクリートで施工する際、コンクリートと蓋の埋設型枠として用いられるGRC製の板です。



■KC フォーム

■JS フォーム

GS ボード(GRC 製法面草押え版)

現在、道路環境の維持管理に際し、除草費等が問題となっています。このロスや人手をなくすために開発されたGSボードは、草類の生育条件である光や水を遮断することで、この問題を一挙に解決した雑草防止版です。



箱型擁壁(可とう性を有するもたれ形状擁壁)

フレキシブルな構造であるため、地震時の土圧に対して壁体が微小に挙動することで発生する応力を減少させ、擁壁のひび割れや崩壊を防止します。また、地盤反力が小さく、基礎地盤、背面土の不同沈下にも追従性を発揮して、擁壁全体の安定性を保持します。



築堤名人(砂防施設用自立式修景型枠ブロック)

築堤名人は砂防ダムなどの築造に関して、大幅な工期短縮と省人化、安全性及び経済性を目指して開発されたものです。表面壁部には自然石の一枚岩から型取りした、修景性の高いテクスチャーを施しています。



あらゆる生活シーンでインフラ整備に貢献しています

ビオフィーム(環境法枠)

法面植生工や河川の護岸工に使用する環境法枠です。中詰め材の選択により、水際部、高水敷など護岸構造に合わせた利用が可能です。ブロック内に十分な客土のスペースがあり、植生土のう等の併用で確実な緑化が期待できます。



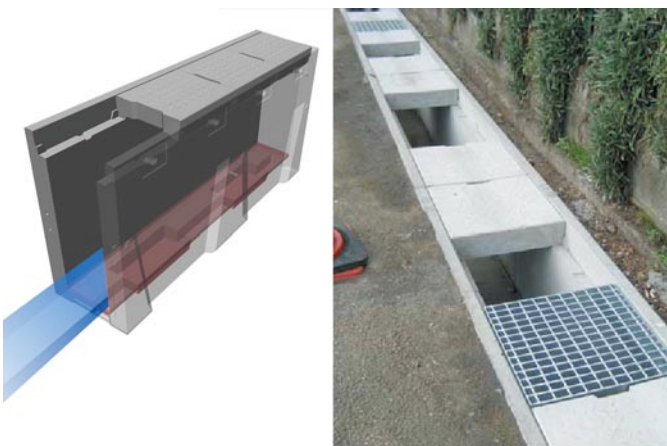
L型擁壁

道路用、宅地用のほか、車両用防護柵基礎一体型プレキャストL型擁壁もご用意しております。



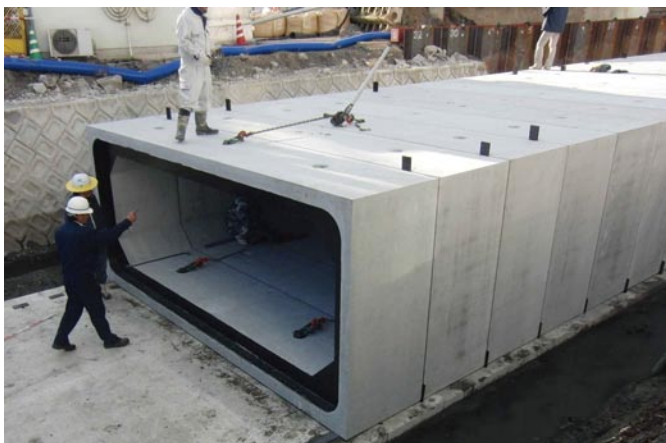
SW可変深溝側溝

従来の変深側溝と異なり基礎コンクリートが不要です。また天版がすべて開口しているためインバートコンクリートの施工性に大変優れています。



ボックスカルバート

地中に埋設される箱型の製品です。主に雨水排水管、通信線等の収容などに使用されます。



エールプレート(GRC製階段用残存型枠)

エールプレートは、コンクリート打設時の型枠として用いると同時に、打設後も階段の蹴込み板として利用できるため、型枠の撤去、モルタル仕上げ工事が不要です。



▲仙台東部道路での避難階段としての施工事例

H型(PC)パイル(パイル基礎工法)

一般住宅及び軽量土木構造物用に最適な【H型(PC)パイル】の販売、施工。メガソーラーパネルの基礎としての実績もございます。



インフラテックグループは全国に拠点作りを展開しています。

全国に広がるインフラテックグループ



全国に広がるインフラテックグループ

土木・建築用コンクリート二次製品製造

大島共和インフラテック(株)

鹿児島県奄美市住用町大字城547 〒894-1111
Tel.0997(69)5151 Fax.0997(69)5055

共同インフラテック(株)

鹿児島市出水市平和町1005番地 〒899-0217
Tel.0996(64)1523 Fax.0996(64)1522

北方インフラテック(株)

宮崎県延岡市北方町角田丑1042 〒882-0104
第一工場(生コン部)
Tel.0982(47)2076 Fax.0982(28)5442
第二工場(二次製品部)
Tel.0982(47)5441 Fax.0982(28)5442

中央インフラテック(株)

宮崎県東諸県郡国富町大字木脇3750-2 〒880-1113
Tel.0985(75)8355 Fax.0985(75)8655

GRC 製品製造

韓国GRC(株)

韓国慶南山清郡山清巴車灘里680-1
Tel.010-82-55-973-5675 Fax.010-82-55-973-5677

骨材(砂・砕石)供給

(株)吹上工業

鹿児島市谷山港2丁目谷山2区 〒891-0131
Tel.099(262)1200 Fax.099(262)2265

(株)根占殖産

鹿児島県肝属郡南大隅町根占川南720-4 〒893-2505
Tel.0994(24)2004 Fax.0994(24)2204

(株)東邦工業

鹿児島県指宿市山川成川7446-5 〒891-0516
Tel.0993(34)2111 0993(34)1678

南薩砂利(株)

鹿児島県串木野市下名16725 番地1 〒891-0516
Tel.0996(32)3632 Fax.0996(32)5342

製品輸送

インフラテックサービス(株)

鹿児島県始良市蒲生町下久徳1539-3 〒899-5304
Tel.0995(54)3525 Fax.0995(54)3551

九建殖産(株)

鹿児島県始良市蒲生町下久徳1658-1 〒899-5304
Tel.0995(52)8091 Fax.0995(52)9054

ゴルフ事業(鹿児島ガーデンゴルフ倶楽部)

ゴルフ事業部

鹿児島市直木町6000番地 〒899-2705
Tel.099(278)5201 Fax.099(278)5265



東邦工業(砂採取船)



インフラテックサービス



鹿児島ガーデンゴルフ倶楽部

■本 社： 鹿児島市与次郎2丁目7番25号 〒890-0062
Tel.099(252)9978 Fax.099(259)4100

■第一営業部

鹿児島営業所： 鹿児島市与次郎2丁目7番25号 〒890-0062
Tel.099(252)9978 Fax.099(259)4800

南薩営業所： 鹿児島県南九州市知覧町瀬世字牧口1160 〒897-0305
Tel.0993(84)2265 Fax.0993(84)2283

大島営業所： 鹿児島県奄美市住用町大字城547 〒894-1111
Tel.0997(69)5311 Fax.0997(69)5055

北薩営業所： 鹿児島県薩摩川内市中郷1丁目39-19 〒895-0072
Tel.0996(27)1930 Fax.0996(27)2962

始良営業所： 鹿児島県始良市平松1880 〒899-5652
Tel.0995(65)3221 Fax.0995(65)3205

大隅営業所： 鹿児島県鹿屋市川西町4029-2 〒893-0032
Tel.0994(43)4002 Fax.0994(43)4006

沖縄営業所： 那覇市首里汀良町3丁目39-301 〒903-0806
Tel.090(3322)8572

鹿児島
設計技術課： 鹿児島市与次郎2丁目7番25号 〒890-0062
Tel.099(252)9978 Fax.099(259)4800

■第二営業部

宮崎営業所： 宮崎市田代町6-1 〒880-0855
Tel.0985(20)9241 Fax.0985(20)9059

日南営業所： 宮崎県日南市大字平山390 〒887-0033
Tel.0987(23)5500 Fax.0987(23)3580

都城営業所： 宮崎県都城高城町石山2980 〒885-1205
Tel.0986(58)4518 Fax.0986(58)4826

延岡営業所： 宮崎県延岡市北方町角田丑1042 〒882-0104
TEL.0982(28)5015 FAX.0982(28)5442

大分営業所： 大分市大字上戸次字長河原3700番地 〒879-7764
Tel.097(597)1148 Fax.097(597)1607

宮崎
設計技術課： 宮崎市田代町6-1 〒880-0855
Tel.0985(20)9241 Fax.0985(20)9059

■第三営業部

福岡営業所： 福岡市博多区東比恵3丁目13-10
スピリッツ福岡B・C号室 〒812-0007
Tel.092(474)2450 Fax.092(451)5259

瀬高営業所： 福岡県みやま市瀬高町廣瀬705番地 〒835-0001
Tel.0944(62)4123 Fax.0944(63)3281

熊本営業所： 熊本市中央区八王寺町40-6 A棟101号 〒860-0831
Tel.096(378)5531 Fax.096(378)5532

福岡
設計技術課： 福岡市博多区東比恵3丁目13-10
スピリッツ福岡B・C号室 〒812-0007
Tel.092(474)2450 Fax.092(451)5259

■第四営業部

東京支店

東京営業所： 東京都港区浜松町2-8-9カノウビル2F 〒105-0013
Tel.03(5472)6288 Fax.03(5472)6289

仙台営業所： 仙台市青葉区上杉3-9-4 マエタビル3F 〒980-0011
Tel.022(211)5131 Fax.022(211)5132

静岡営業所： 静岡市清水区由比641-3 〒421-3103
TEL.054(375)5620 FAX.054(375)5630

山梨営業所： 山梨県南アルプス市荻沢386 〒400-0422
TEL.055(284)6230 FAX.055(284)6237

大阪支店

大阪営業所： 大阪府守口市梅園町5番1号
ワーク・オフィス内環土居103号室〒570-0066
Tel.06(6995)6370 Fax.06(6991)5503

和歌山出張所： 和歌山県岩出市西野148-1 ミムラビル5-D室 〒649-6235
Tel.0736(69)1780 Fax.0736(62)1720

広島営業所： 広島市佐伯区旭園3番33号清水ビル5F 〒731-5133
Tel.082(943)5441 Fax.082(924)2056

■住宅環境事業部

パイル・エクス
テリア事業課： 熊本市八王寺町40-6 A棟101号 〒860-0831
Tel.096(378)5531 Fax.096(378)5532

建設不動産課： 鹿児島市与次郎2丁目7番25号 〒890-0062
Tel.099(252)9911 Fax.099(259)4800

■総合技術研究所：
技術課 鹿児島県始良市平松3141-1 〒899-5652
Tel.0995(65)6998 Fax.0995(64)5801
研究開発課

■ゴルフ事業部： 鹿児島市直木町6000番地 〒899-2705
Tel.099(278)5201 Fax.099(278)5265

■生産部門

南薩工場： (南薩営業所と所在地、電話等同じ)
始良工場： (始良営業所と所在地、電話等同じ)
FRC工場： 鹿児島県始良市平松3141-1 〒899-5652
TEL.0995(65)4635 FAX.0995(65)6492

鹿屋工場： (大隅営業所と所在地、電話等同じ)
栗野工場： 鹿児島県始良郡湧水町米永2956-4 〒899-6207
Tel.0995(74)3951 Fax.0995(74)3866

高城工場： (都城営業所と所在地、電話等同じ)
日南工場： (日南営業所と所在地、電話等同じ)
瀬高工場： (瀬高営業所と所在地、電話等同じ)
大分工場： (大分営業所と所在地同じ)
岡山工場： 岡山市東幸西544-1 〒704-8135
Tel.086(946)9000 Fax.086(946)9100

型枠レンタル課： 鹿児島県始良市蒲生町下久徳1658-1 〒899-5304
Tel.0995(52)8091 Fax.0995(52)9054

